

自然の力を活用した 省エネルギー実験店舗

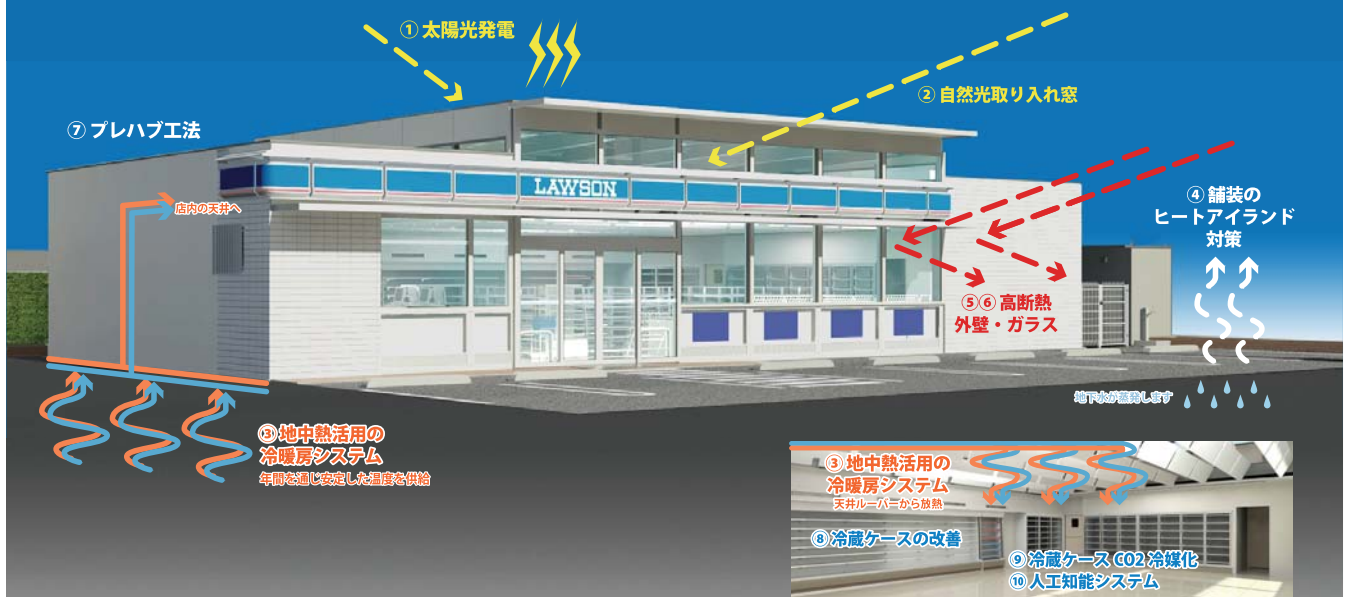
海老名上今泉二丁目店

2008年7月の洞爺湖サミットから既に4年が経過し、原発問題が叫ばれる中、省エネへの取組みは企業の使命となっております。

私たちローソンは、東京大学生産技術研究所 野城研究室・馬郡研究室との共同開発を通じ、最先端テクノロジーを結集した電気使用量 30% 削減* の省エネルギー型実験店舗を実現しました。今後は、省エネルギー型店舗のパッケージ化へ向けた取組みを計画しています。

(*2010年度実績対比の試算数値)

2012年12月7日 OPEN

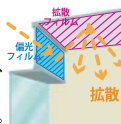


ポイント 1
自然光・風の最大活用

①太陽光発電
年間約 18,000kw 発電します。また、屋根に直接日射が当たらないので、空調負荷も軽減されます。



②自然光取り入れ窓
飛び出た四面窓から自然光の取り入れと換気をします。また、拡散フィルムで光を店内奥まで届けます。



ポイント 2
地中熱の最大活用

③地中熱活用の冷暖房システム
約 17 度で安定した井戸水の熱を金属パネルに伝導させ、天井ルーバーで効率的に放熱、室温調節します。

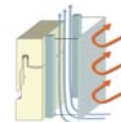


④舗装のヒートアイランド対策
舗装下に地下水を浸透散水することで、蒸発気化に伴う温度低減を図ります。

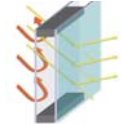


ポイント 3
建築構造の最大活用

⑤高断熱外壁
断熱性能の高い、空気層を挟んだ 2 重構造の外壁を使用しています。



⑥高断熱ガラス
遮熱・断熱性能の高い Low-e ペアガラスを使用しています。



ポイント 4
環境配慮型設備機器

⑧冷蔵ケースの排熱活用
排熱を夏は店外、冬は店内に循環し空調負荷を下げます。また、ケース前の空気を循環させる事で機器効率を高めます。



⑨冷蔵ケースの CO2 冷媒化
CO2 冷媒の冷蔵ケースを採用し、エネルギーの高効率化とノンフロン化に貢献します。

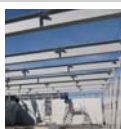


電気使用量
※ 2010 年度実績対比

30 %

削減予定

⑦プレハブ工法
プレハブ工法をベースとした建物で、従来の工法よりコストを 15% 削減しました。



⑩人工知能システム
センサーで内外環境に合わせた自動制御を行うことで、エネルギーを効率的に使用しています。



LAWSON